

ステップだより

拠点校：日野市立南平小学校
巡回校：日野市立豊田小学校
令和4年10月号



一人一人の運動会



蒸し暑い夏が終わり、朝晩は涼しくなり秋の訪れを感じるようになってきました。長い夏休みから学校が始まり一か月、「朝起きることが辛い。」「夏休みもうちょっと欲しかったな〜。」と話していた子供たちも学校生活のリズムを取り戻してきたようです。

9月は夏休みの出来事を話したり、2学期の目標を話したり、一生懸命伝えてくれている子供たちの姿を見てとても嬉しい気持ちになりました。

2学期が始まってすぐに運動会の練習が始まりました。「暑くて疲れた〜。」「ダンスが難しい。」「徒競走緊張する…。」など本音を話しつつ、「応援団になったよ!」「リレー頑張る!」など前向きな発言も聞くことができました。

運動会が楽しみな子、不安な子、負けることが嫌な子一人一人の気持ちに向き合い、キラキラと一生懸命頑張る子供たちの姿に感動した1か月でした。2学期は行事が多いため、ステップ教室ではリフレッシュしつつ、活躍できる場面を子供たちと一緒に見つけていきたいです。

【9月はこんなことをしました】

〈心の中のモンスター〉自分の考えを言葉で伝えよう

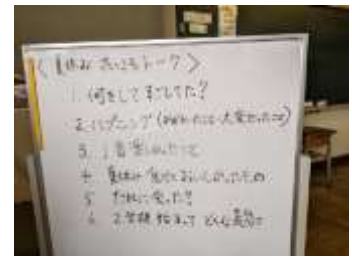
高学年を中心に自己理解の授業を行いました。

自分の苦手なことや、ついついやってしまうことを心の中のモンスターと置き換えて、数ある中から自分たちに似たモンスターを探しました。教員の幼少期の話とモンスターを関連付けた話や同じグループの友達の話を聞いて「僕もそのモンスターいる!」「私と似ているね。」などの発言もありました。じっくり自分と向き合うこと、お互いを認め合うことができました。



〈夏休みさいころトーク〉相手に伝わるように話そう

2学期最初のフレンドタイムでは、夏休みの出来事について話しました。さいころを振って出た目のお題に沿って話します。相手に伝わるようにするためには、どのようなことに気を付けたら良いのか考えながら活動しました。また、友達の話をよく聞いて、それに対する質問をしました。「そこで何を食べましたか?」「誰と行きましたか?」「何が一番楽しかったですか?」など会話が広がるような質問をたくさんしている姿が見られました。みんなに聞こえる丁度良い声の大きさと、はっきり聞こえるスピードを意識しながら活動に取り組むことができました。



〈協力レゴ〉協力しよう

協力レゴとは、フレンドタイムのグループの友達と相談しながらレゴを使って様々なものを作ります。活動中に「ここに置いてもいい?」「どの範囲まで自分が置いていいか決めようよ。」「僕〇〇作るね。」「いいよ。」など声を掛け合う様子が見られました。またドアや窓、車輪のような部品のスペシャルレゴは先生の許可がないと使えません。そこで子どもたちは「スペシャルを使ってもいいですか?」と挙手をして聞くことができました。声を掛け合って協力すること、挙手をしてお願いをすることなど、在籍学級で活かしてほしいと思います。



〈ぴったんこゲーム〉友達が思いつきそうなことを考えよう

ぴったんこゲームとは、お題を聞き、答えをグループの友達と合わせるといった活動です。「冷たい食べ物と言えば?」や「緑色の野菜と言えば?」など答えが複数あるようなお題に対して、みんなが思いつきそうなことを考えます。以前からこの活動は行っていましたが、今回はグループによって相談タイムを設けました。みんなで答えを合わせないといけないため、どうやったらヒントを伝えられるか子どもたちは一生懸命考えながらコミュニケーションを図っていました。

